

4. むすび

本年度は、10月に阿蘇山で噴火が発生した際に緊急の降灰調査が行われ JVDN システムを活用した迅速な情報共有が行われた。JVDN システムは、主に火山研究に活用されることを想定した研究基盤であるが、研究成果を防災の業務等に活用してもらうための窓口でもある。防災の業務にも活用してもらい、その際に明らかになった課題を研究コミュニティにフィードバックをすることで火山防災に資する研究の推進に貢献することも課題 A の役割の1つである。実際に、降灰調査が行われたのちに利用者に意見を聞き、令和4年度計画に反映している。令和4年度以降も JVDN システムを活用して、このような取り組みを進めていきたい。